

# 令和6年度 学校経営方針

関係法令，学習指導要領  
第6次県教振計画  
大石田町がめざす子ども像

## 学校教育目標

夢をいただき、生き生きと輝く生徒の育成

生徒の実態  
地域・保護者の願い  
教職員の思い

校訓  
時を守り  
場を淨め  
礼を尽くす

## めざす大中学生像

- 1 共に認め合い，思いやりのある生徒 (心情)
- 2 自ら学び，生きる力を身につける生徒 (叡智)
- 3 心身ともにたくましく，活力みなぎる生徒 (健康)

## 目指す大中学生の姿

### 「笑顔」「活力」「信頼」

生徒や教師の笑顔と笑い声がたくさんあって、目標達成に向けて前向きでエネルギッシュに取り組む姿がある。互いに信頼の中で学び合い、助け合える、そんな生徒集団でありたい。

## 経営の基本方針

- 1 大石田町民との直接的な触れ合いを通し，故郷大石田町への愛情を備えた大中学生を育てる。
- 2 スチューデント・ファーストの理念で，地域・保護者・教職員が協働できる学校をつくる。
- 3 「おかげさまで」の精神で謙虚に学び続け，「師表」を志す教職員チームをつくる。

## 経営の重点

### 確かな学力を保障する

- 1 指導と評価の一体化を日常的に実践し，学力3観点それぞれの向上を図る
- 2 生徒間の対話による課題解決を中核に，思考力・判断力・表現力の更なる向上を図る
- 3 I C Tを活用して個別最適な学びと協働的な学びを実践し，個々の学力向上を図る
- 4 大石田町由来の教材開発に努め，町民との交流で郷土愛と貢献の態度を育む

### 自主自律を培い，自立心を育む

- 1 多くの体験活動を通して，豊かな人間性としなやかに対応できる力を養う。
- 2 生徒会活動と学級活動の一層の充実を図り，絆づくりと居場所づくりを強化する
- 3 教育活動全体で発達支持的生徒指導を機能させ，一人一人の個性を伸長する
- 4 教育活動全体で，生徒に自己決定させる体験を積み重ねさせ，自律心を培う

### 安全・安心・安定で，信頼を結ぶ

- 1 「いのちの尊厳」を重視した教育活動を推進し，自他の生命を次世代につなぐ態度を育む
- 2 「生徒・保護者・地域」目線に立ったチーム支援を実践し，信頼関係の強化を図る
- 3 地域・保護者との情報共有と合意形成を重視し，持続可能な協働関係を構築する
- 4 生徒の生きる力の基礎づくりとして，心身の健康増進と体力向上を図る

大中学生に対し最良の教育を持続的に行うために，教職員が働き方改革に主体的に取り組む

笑顔

活力

信頼

## 故郷を愛する心

故郷大石田を愛し、その魅力を発信できる町民を育てること。

## ステューデント・ファースト

先生とは「生徒を第一に考える」存在です。決して、教員（自分）ファーストにはならない。その生徒にとって何が一番良いのかを常に考え指導にあたる。

## 指導と評価の一体化

経営基本は、P-D-C-A Doを重視する。（動かなければ課題も見えない）  
Check(評価)して 成果が上がるように Action(手立てを更新する)。行動のみになるのではなく、必ず評価と手立てを行い、つなげていく。

## 生徒間の対話

授業時間50分の内、教員の発言が少なければ少ないほど、生徒の脳はアクティブになる。その代表格が、50分のテスト(定期テスト、実力テスト等)。  
「教員が発言したい内容を生徒間で対話させること」が、生徒主体の授業の基本中の基本。

## 発達支持的生徒指導

特定の課題を意識することなく、全ての児童生徒を対象に、学校教育の目標の実現に向けて、教育課程内外の全ての教育活動において進められる生徒指導の基盤 … 生徒指導提要改訂版参照

## 生徒の自己決定力を重視

自らの生き方を決めるのは生徒自身。教員に生徒の生き方を決める権利はない。  
教員は、コーディネーターであり、アドバイザーであり、情報提供者であり…。  
教員の言動や価値判断がすべて正しいとは限らない。時代と共に価値観のアップデートを図る。  
小さなことでも、生徒に考えさせる。自己決定させる。責任を持たせる。

## 情報共有と合意形成

大石田中学校は、公的な役目を担う組織体です。  
私たちは教育公務員であり、公共の利益のために、私たちは勤務しています。  
組織体にとって困るのは、独善的言動です。「私は教員だ。だから正しい！」は困ります。  
正しいかどうかを判断するのは、他者です。  
専門性を高めるための自己研鑽。価値観の多様性を理解して人と対話する。  
話はよく聴き、否定しないで、受け入れるところから共感的理解に繋がります。  
私たちの立ち振る舞いは全て、関わった子供たち全員に影響を与えるという自覚を持つ。

## 「生徒・保護者・地域」目線に立ったチーム支援

大石田町には様々な生き方があります。家族構成、仕事、収入や支出、人生経験みな違います。その違いを尊重した上で、公益の仕事をするのが公務員です。  
町民の目線（町民一人一人の立場）で事象を見つめ、課題解決していくのが公務員です。  
地域・保護者と協力し合い、考えを出し合って、より良い方向性を見出していくことが大切。